

安全指導実践例【第3学年 学級活動】

指導者 鷺敷小学校 西川栄展・生杉恭子教諭

1. 題材名 「安全な自転車の乗り方を考えよう」活動内容(2)
2. ねらい 自分たちの自転車乗車中の危険予知について話し合い、個人目標を自己決定させ、交通安全への実践的な態度を養う。
3. 子どもの活動

	活動内容	活動の様子
課題把握	<p>1</p> <p>安全マップから危険箇所について気づき、課題をつかむ。</p> 	<p>自転車の安全な乗り方について、自分の調べた具体的な場所の危険箇所について考えさせる。</p> <p>"どこが、どうして危険なのか"発表してください。</p> <p>左右の見とおし、の悪いT字路は、どちらから車が来るか分からない。</p> <p>自転車が通れる歩道や路側帯がない。道路に駐車車両が多い。</p> 
情報収集	<p>2</p> <p>交差点を例にして、予想される危険について話し合う。</p> 	<p>動画や画像の提示、専門機関の人の説明・助言もいただきながら予想される危険を様々な角度から考えさせる。</p> <p>(担任教師より)動画をを用い、ポイントで止めながら、交差点を安全確認をせず進行する小学生の自転車を示す。</p> <p>交差点を渡るときは、どんなことに気をつけたらいいでしょう。</p> <p>右側や左側から来る車に気をつける。</p> <p>(専門機関の人より)図を用い、子どもだけでは気づかないポイントを助言する。</p> <p>交差点では、左右から来る車だけでなく歩行者や前からの右折車、後からの左折車にも気をつけなければいけないね。</p> 
情報の共有化	<p>3</p> <p>代表的な危険場所を通る人への具体的なアドバイスを紹介しあう。</p> 	<p>国道の歩道、T字路交差点、国道にある横断歩道の3ヶ所について、グループごとで話し合い、考えをまとめさせる。それらを板書させ全員でアドバイス(情報)を共有させる。</p> <p>〇〇は、必ず止まらなければいけないね。</p> <p>〇〇から来る車は見えにくいね。</p> 
自己決定	<p>4</p> <p>これまでの話し合いで得た情報をもとに、自分が重視する安全の誓いを発表する。</p>	<p>これから特に注意して守る誓いを全員に発表させる。</p> <p>〇〇の横断歩道をわたるときは、必ず左右を確認します。</p> <p>家の前のT字路は、必ずいったん止まります。</p> 
振り返り	<p>5</p> <p>本時の学習を振り返る。</p>	<p>よかった点を賞賛し、これから実行するための方向性を助言する。</p> <p>全員が自分が気をつけることを発表できました。決めたことを大切にしてこれから必ず実行してください。</p> 